大野城まどかぴあ男女平等推進センター　アスカーラ
2013. 12. 1発行　　第 177 号

すてっぷ

アスカーラとは…大野城まどかぴあ男女平等推進センターは、4／6（土）のリニューアルオープンに伴い、愛称を募集しました。アス+スカーラの造語。アスは明日・未来の意味で、スカーラはイタリア語で、階段やはしごの意味。明日に向かって、みんなで 1 歩づつ階段を上がっていくように男女平等を推進していきましょうという意味です。これからは、アスカーラと呼んでください。

11 月 12 日から 25 日までの「女性に対する暴力をなくす運動」週間では、パープルツリーを飾りました

▼CONTENTS▼

・事業レポート「あなたとわたしのための元気塾⑤」「ママチャレンジ講座」
・アスカーラ　講座・イベント案内
・キッズルームでこんにちは
・この数字ってなあに？「105」
・相談室のご案内
・ひとりごと
・今月のアスカーラ

あなたとわたしのための元気塾⑤
「絵本にみるジェンダー」
日にち：10 月 5 日（土）
講　師：草谷　桂子さん　（児童文学者）

絵本をとおして社会へ

会場に入ると、色とりどりの絵本が、目に飛び込んできた。おなじみの絵本や、本日の講師である草谷桂子さんの著書も並んでいる。さっそく数名の受講生が笑顔でそれらの絵本を手に取っていた。

草谷さんは 30 年ほど前から自宅を開放して「トモエ文庫」を主催している。草谷さんにとっての良い本の基準はもちろんあるが、文庫に来る子どもたちにはそれを押し付けないようにしているとの事。その 2 万冊の蔵書の中には漫画本も置いてあるという。子どもの気持ちを大切にしている主催者だ。「トモエ文庫」では、お話会やお楽しみ会も開催されていて、その様子がスライドで紹介された。そもそもなぜ「トモエ文庫」を開催したかというと……。県庁職員として勤務していたが出産を機に離職し、はからずも農業に携わることになった。子育てをしながらお姑さんと農業をし、時間を見つけては童話を書くという閉鎖的な日々を送っていたそうだ。誰かが我慢する生活は本当の幸せではない、いつかは社会と繋がることをしたい、と願いながら。そんなある日、豪雨災害で家を建て替えることになり、6 畳の家庭文庫を開いたのが、「トモエ文庫」のはじまり。以来、大勢の子どもや大人と、そして絵本をとおして社会と関わりを持つことになった。

子育てにおいて絵本や児童書は大切な育児ツールだ。子どもは単純に絵本を楽しめばよいが、それを与える大人の意識は大切だ。なぜなら絵本には作者や国の常識や時代背景が出るものだからだ。無垢な心に入っていく絵本に、ジェンダーやジェンダーバイアスが、当然のことのように描かれているのは好ましくない。そう、私たち大人にも無意識のうちに思い込みがある。お馴染みのロングセラー絵本の「ぐりとぐら」の主人公は赤い服と青い服を着た双子の野ねずみ。赤い服を着ているのが女の子で、青い服を着ているのが男の子と何の迷いもなく思ってしまう。実は2匹とも男の子の双子が正解。会場中「へー、そうだったんだ」という雰囲気が漂う。次々とテーマに沿って 3～4 冊の絵本を分かりやすく紹介しながら講座は進んでいく。

例えば、＜**自由に羽ばたける翼をもらう**＞**のテーマでは『女の子も男の子もあるがまま受け入れられ、のびのびそだってほしいものです』の想いで選ばれた絵本**　☆パイルドライバー（長谷川集平　作絵　温羅書房）　☆としょかんねずみ 3（ダヌエル・カール作　渡辺てつた訳　瑞雲社）　☆ふとっちょロージ（デスモワノー作　工藤直子訳　ブロンズ新社）の紹介があり、＜**ジェンダーについて考える**＞**のテーマでは『女も男も幸せになるために』の想いで**☆ごきげんなライオンのおくさんがんばる（ルイーゼ・ファティオ作　ロジャー・デュボアザン絵　清水真砂子訳　佑学社）　☆ともだち（谷川俊太郎作　和田誠絵　玉川大学出版）などが紹介された。15 のテーマに沿って、大人の私でも「ドキドキ・ワクワク」読みたくなる絵本がたくさん紹介された。

最後に童話作家の石井桃子さんのメッセージを伝えられた。

『子どもたちよ。
子ども時代をしっかりと　たのしんでください。
大人になってから　老人になってから
あなたを支えてくれるのは
子ども時代のあなたです。』

（情報サポーター　ちびまま）

2013年12月のアスカーラ主催講座のご案内

「あっ」という間に木枯らしの季節に突入です。外に出るのがちょっと億劫になってきましたが、何かに出会えるのがまどかぴあです。アスカーラの情報交流ひろばには、いろんなチラシが充実していますよ。どうぞお出かけください。

1/25（土）

好評発売中！チケットのお求めはお急ぎください

「森永 卓郎 講演会
～男と女のあり方が変わる 経済も変わる～」

テレビやラジオで大活躍の森永さんに「今」の生きた経済について「生」のお話をしていただきます。テーマは、経済＋男女共同参画です。モリタクさんマジックでどんな展開になるか・・・乞うご期待!!
皆さんお誘いあわせのうえ、お出かけください。

＜時　間＞　13:30～15:00（13:00 開場）
＜会　場＞　大野城まどかぴあ　1 階　大ホール
＜料　金＞　一般　500 円（当日　600 円）
　　まどかぴあ友の会特別料金　400 円（当日　480 円）
＜チケット取扱い＞　まどかぴあ総合案内　092-586-4000

日　時・会　場	講　座・イベント	講　師・内　容・料　金など
＜市民グループ活動支援事業＞ ①1 月 18 日(土) 18:30～20:00 303 会議室 ②1 月 19 日(日) 11:00～12:00 和会議室	**お父さんといっしょに表現の森に遊びにおいで** 劇あそびをとおして、表現する楽しさや想像の世界を親子で体験してみませんか? ①こちらおかしなへんてこりん小学校 ～表現あそびワークショプ～ ②カバサンのマスク ～表現あそびワークショップ～	＜講　師＞大森 靖枝(おおもり やすえ)さん (劇団風の子表現指導者) ＜申込期間＞1／6～1／10 ＜主催・申込先＞大野城こども劇場 電話 092(572)0544　FAX092(572)9341 ①対　象:4 才から小学校 3 年生の親子(※) 参加費:1 家族 500 円 ②対　象:0 才から 3 才の親子(※) 参加費:1 家族 500 円 ※親子:お子さんとご家族のどなたか
2 月 1 日(土) ★講演会 10:00～11:00 ☆パネル ディスカッション 11:05～12:00	**今から始める　輝き人生セミナー** セカンドライフを楽しく充実させるための講座です ★「傍楽(はたらく)人生のすすめ ～シニアライフ 4 つの不安も解決できる～」 ☆「あなたの出番です！ ～自分デザイン始めませんか～」	＜講師・パネリスト・コーディネーター＞ ★講師:川邊 康晴(かわべ やすはる)さん ☆パネリスト:川邊 康晴さん、小柳辰夫さん 大野城市区長 1 名・ｱｽｶｰﾗｻﾎﾟｰﾀｰ 1 名 コーディネーター:林田 スマ ＜参加費＞無料 ＜対　象＞団塊世代・これから定年退職を迎える男女・関心がある方 ＜定　員＞100 名(先着順) ＜会　場＞小ホール

講座、イベント等のお申し込み・お問い合わせは
★男女平等推進センター アスカーラ★
〒816-0934 大野城市曙町 2 丁目 3 番 1 号
TEL（092）586-4030　FAX（092）586-4031
ホームページ http://www.madokapia.or.jp/
開館日時/月曜日～金曜日 9 時～19 時　土・日・祝日 9 時～17 時
閉 館 日/第 1・3 水曜日　年末年始/12 月 28 日～1 月 4 日

右下のマークのある講座・ｲﾍﾞﾝﾄは託児 が利用できます。
開催日の 1 週間前 までにお申し込みください。
・1 人 1 回 600 円
・満 1 歳～
　小学校就学前まで

＜利用時間＞
10：00～15：00
＜場　　所＞
まどかぴあ3階

※予約はいりません
※参加料は無料です
※未就学児が対象です

今月のお楽しみ情報

○12月3、10、17、24日（火）10:30～
担当：おひざでだっこ
「おはなしのへや」
ぴよぴよ（妊娠中・0歳児）第1・3火曜
よちよち（1・2歳児）　第2・4火曜

○12月2日（月）10:30～
担当：ハンドインハンド

○12月25日（水）10:30～
担当：託児サポーター“ママ・ポケット”

※毎週木曜日10:30～12:00は、
“ママ・ポケット”の見守りの日です。

今月の元気キッズ！

キッズルームで「はじめまして」のお友達です。一緒に「つみき」を高く、高くつみあげました。とっても上手！いっぱい遊んで大きくなあれ。また、キッズルームに遊びにきてね。

世界経済フォーラム（WEF）は平成25年10月25日、世界各国の男女平等の度合いを指数化した2013年版「ジェンダー・ギャップ指数」を発表した。**日本の順位は調査担当136カ国のうち105位で前年より4つ下がった。**識字率や高校までの教育水準では世界1位だが、女性の就労者や政治家が少ない事が全体の評価を下げている。順位の低下は3年連続で、同指数の発表が始まった06年以降の最低を更新した。経済協力開発機構（OECD）加盟国で日本より順位が低いのは111位の韓国だけだった。

WEFは女性の地位を経済、教育、政治、健康の4分野で分析している。日本は経済104位、政治では118位にとどまった。教育は識字率の高さなどを大学や専門学校への進学率の低さが相殺し91位だった。1位は5年連続でアイスランドで、2位以下は北欧勢が続き、上位10か国のうち7カ国を欧州が占める。アジアで最高なのは5位のフィリピン。同国は大学や専門学校に進学する人に占める女性の比率が世界で最も高く、政治への参加も世界で10位と高く評価された。

（参考：世界経済フォーラムグローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート）

＜ジェンダー・ギャップ指数　主な国の順位＞

順位	国　名	昨年の順位		順位	国　名	昨年の順位
1	アイスランド	1		13	オランダ	11
2	フィンランド	2		14	ドイツ	13
3	ノルウェー	3		18	イギリス	18
4	スウェーデン	4		20	カナダ	21
5	フィリピン	8		23	アメリカ	22
6	アイルランド	5		45	フランス	57
7	ニュージーランド	6		61	ロシア	59
8	デンマーク	7		69	中国	69
9	スイス	10		71	イタリア	80
10	ニカラグア	9		105	日本	101
11	ベルギー	12		111	韓国	108

ママの未来チャレンジ（全４回）

日にち：10 月 17 日・24 日・31 日・11 月 7 日
（全回木曜）
講　師：①田中　彩さん
（NPO法人ママワーク研究所　理事長）
②太刀山　美樹さん
（株式会社 MIKI・ファニット　代表）
③山本　奈緒子さん(ELFA. Studio 代表)
④雁瀬　暁子さん（マミースタイル代表）
下倉　樹さん（きっずーな　代表）
中村　洋子さん（すこやかﾗｲﾌｻﾎﾟｰﾀｰ代表）

①【ママのための自分時間】

“「私のこれまで」満足度（ハッピー度）チャート”と“「私の今＆これから」理想のバランス”の２枚のシートを使って、人生を振り返り未来を考えた。４つのグループに分かれて、みんなで語り合った。

②【ママの心と体にそっとビタミンチャージ】

“ココロとカラダのビタミンチャージ”のシートで自分自身を見つめた後、二人一組になって、ストレッチ。お互いがアイドルになったつもりで、決めポーズをしてみたり…。

③【ママのための名刺づくり】

“ママの未来名刺　プロフィールシート”には、メールアドレス・ブログアドレス・趣味・特技・資格・仕事・夢・目標・やりたい事・自分のキャッチコピーなどなど…名刺作りのための項目がズラリ。実際の名刺づくりは宿題になった。

④【ママへのメッセージ♪　主婦からの Re start！】

３人の講師でリレー講演会。その後の交流会では、宿題の手作り名刺をもって和気あいあいと名刺交換。

机の上にお手製の名刺を重ねて、話もハズム…

ママが元気なら子どもも元気!

全４回講座の講師たちが、一貫して語ったのは「ママが元気なら子どもも元気！」だ。一方で「子育てで時間と体力と心の余裕をなくし、ママが元気になれないのが現実です」や「親が子どもの心身を傷つけてしまう事件に“少しわかる”と思ってしまう自分（ママ）がいる」とも。「だからこそ、ママが息抜きして元気になるために何かできないかと考え、ネットワークを広げてきました」と前を向いて明るく語られた。今回の講師は、皆現役のママたちばかり。子育ての喜びも苦しみも、現実もわかった上で「このママたちの現実を何とかしたい！」という思いで、ここまでやってこられたのだろう……。

独身・子育て経験なしの私でも聞いていて胸が熱くなるエピソードがたくさんあった。

その1歩は勇気の証

講座最終日、ママたちのお手製名刺の交換で盛り上がる交流会。ある講師が言った「この講座に参加しなければ、きっとこの名刺を作ることもなかったよね!!」という言葉がとても印象的だった。

小さくてもいい、一歩行動する勇気が大事。子育てを自分で何もかもやろうとせず、家族や社会のセーフティーネットにむけて「自分は今こういう事で大変だ」と語り続けることはとても大切な事だ。そして「子育ては立派なキャリアのひとつ」と講師が語ったようにママたちが胸を張って子育てができる社会になってほしいと、ひしひしと感じた。

（情報サポーター　ゴールド）

12月の男女平等推進センター

日	曜	予　定
1	日	
2	月	ｽｷﾙｱｯﾌﾟ簿記３級⑥
3	火	
4	水	休館日
5	木	情報サポーター養成講座④
6	金	ｽｷﾙｱｯﾌﾟ簿記３級⑦
7	土	市民グループ活動支援事業
8	日	
9	月	ｽｷﾙｱｯﾌﾟ簿記３級⑧ 託児サポーター定例会
10	火	啓発サポーター定例会
11	水	ｽｷﾙｱｯﾌﾟ簿記３級⑨
12	木	
13	金	ｽｷﾙｱｯﾌﾟ簿記３級⑩
14	土	
15	日	
16	月	ｽｷﾙｱｯﾌﾟ簿記３級⑪
17	火	
18	水	休館日
19	木	情報サポーター編集会議
20	金	ｽｷﾙｱｯﾌﾟ簿記３級⑫
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	ｽｷﾙｱｯﾌﾟ簿記３級⑬
26	木	
27	金	
28	土	休館日
29	日	休館日
30	月	休館日
31	火	休館日（～平成26年1月4日まで休館）

男女平等推進センターアスカーラの
シンボルマークが決定しました。
みなさん、よろしくお願いします。

相談のご予約・お問合せは・・・
☎092－586－4035

☆大野城まどかぴあ　相談室のご案内☆

相談は無料です。まずはお電話してください。

■総合相談■　月曜～金曜　９時～17時
※土・日・祝日と休館日はお休みです。
面接相談（要予約）と電話相談ができます。

■臨床心理士による相談■　火曜・木曜　月４回
面接、電話相談。予約してください。
生き方、夫婦・親子関係、対人関係、仕事のこと、DVの相談など、気持ちの整理をしませんか。
臨床心理士が相談を受けます。
＜今月の相談日程＞
12月3日（火）　12日・19日・26日（木）

■法律相談■　毎月第1～4木曜日 13時～16時
面接相談のみ。予約してください。
弁護士が相談を受けます。

■おしごと相談■　毎月第２水曜日 10時～12時
面接相談のみ。予約してください。
福岡県福岡労働者支援事務所の労働相談員、
就業アドバイザーが相談を受けます。

＊ひとりごと＊ もうすぐポチ袋が活躍する時期がやって来る。妻はこの時期が近づくと、ポチ袋を出してきてピン札を入れる。お年玉の準備である。妻の実家は、親類が多く子ども達もよく集まるので、事前に準備するのが習慣となっていたようだ。もともとポチ袋は「心付け」を入れるものとして、日本独特の発達を遂げた。パリのカフェでも客が「心付け」を置いていくが、裸銭をテーブルに置いていくだけで、気遣いの様子はない。聞いた話によれば、このポチ袋は花柳界で昔から盛んに使われていたらしい。この世界では、客がそれなりの心付けを入れて渡すのである。最近はあまり見ないが、我々庶民もその真似して、旅館の仲居さんに渡していた。私が小学生の頃、家族で温泉宿に泊まると母か祖母が渡していた。しかもただ渡すのではなく、あくまでもスマートでなければならない。人に見られず、何気ない素振りで手渡すのが礼儀。形も小ぶりだし、あくまでも控えめなのがポチ袋の使命らしい。本場はやはり京都だが、なかなか行けない。そこでデパートの京都物産展などで和文具屋さんが出店すると、つい出かけて行く。地方に住んでいる者にとっては、ちょっとまとめて購入するのに好都合である。ポチ袋は、和の文化のひとつとして、今も昔も変わらずに我々の生活の中で活躍している。　（情報サポーター　倉町賢一郎）

＜編集＞男女平等推進センター情報サポーター　＜発行＞大野城まどかぴあ男女平等推進センター　アスカーラ
〒816-0934　福岡県大野城市曙町2-3-1
ＴＥＬ／092（586）4030　ＦＡＸ／092（586）4031
相談専用電話／092（586）4035　ホームページアドレス　http://www.madokapia.or.jp/